

名 称	第3回鹿沼市総合計画審議会議事録
日 時	平成27年10月29日(木) 13:30~15:10
場 所	鹿沼市民情報センター 子育て情報室
出 席 者	別紙のとおり(18名 他、県地域振興課随員 1名、傍聴者2名)
内容及び 結果等	<p>(進行：企画課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の市議会の改選後、議会からの申出により、議員を審議委員に推薦していただかないこととなり、別紙名簿のとおり、審議会委員数は25名となった。 <p>○ 会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お忙しいところ、このように大勢の委員さんにお集まりいただきまして、審議会が開催できますことを心から御礼申し上げたい。 ・今日は第3回ということで、会議を開かせていただいた。 ・過去2回、人というものを中心にしてこれから鹿沼をどういうふうにしていったらいいかということ、いろいろとご意見をいただいた。 ・机にある冊子「総合戦略案」としてまとめた。 ・また、その中には、パブリックコメントが6件ほどあり、そういったものを含めて、戦略案がまとまっているということ。また、皆様方、委員の意見もまとめたということでもある。 ・さらに充実させ、今後策定する総合計画を充実させるため、更に皆様お一人お一人から、今日はこれらの計画についてのご意見をいただきたい。 ・今日は、これから策定していく総合計画について、どういうものであるのかということ、事務局から説明があるので、ご理解いただいた上で、皆様方お一人お一人に練っていただければありがたい。 ・今日は、いろいろと忌憚のないご意見をいただけることを期待してあいさつとする。 <p>○ 市長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回鹿沼市総合計画審議会の開催にあたって、一言挨拶申し上げる。 ・委員の皆様には、日ごろから市政各般にわたりましてご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。 ・こここのところ、鹿沼市ではいろいろなことが続いた。台風18号に始まって、選挙違反、警察官の不祥事、市職員の不祥事があった。市民の皆様にご心配をおかけし、またいろいろご苦勞をおかけして、大変申し訳なく思っている。 ・さきほど会長から「ひとに視点をあてて」、とお話があったが、いろいろと再発防止について協議をしている。最終的には、いくら形を作っても人であろうというところに行きつく。人を育てることが極めて大切なことだと改めて感じている。 ・過去2回の本審議会、協議をいただいた「鹿沼市総合戦略(案)」は、9月24日から10月23日まで、パブリックコメントを実施し、いくつかのご意見をいただいている。 ・今日はパブリックコメントなどをもとに修正した「鹿沼市総合戦略(案)」をご協議いただきたい。

内容及び
結果等

- ・タイトルも、国は「まち・ひと・しごと」と銘打っているが、あえて、鹿沼市は並べ替えて「ひと・まち・しごと創生 鹿沼市総合戦略」とした。“ひと”が中心となって、これからのまちづくりについて、自分事としてそれぞれが取り組んで、参加していただけることを念頭に、このような名称とした。
- ・「鹿沼のチカラを高め、夢にチャレンジができるまち」、「全国と世界にアピールするまち」、「豊かなこころを育て、生涯安心して暮らせるまち」ということを3つの大きな柱として今後進めていきたい。
- ・計画はこういった柱を立てるが、なかなか分かりづらい。“ひと”なら“ひと”に焦点を当てて、“ひとづくり”というように1つに絞って、そこから派生するような形にしてしまった方がいいのかもしれないが、今回は一般的な手法として、3本柱を中心にまとめさせていただいた。
- ・「鹿沼のチカラを高め」は、一人一人の“ひと”という意味合いも含んでいる。それぞれがしっかりとチカラをつけていき、この鹿沼で「夢にチャレンジができるまち」にしていく。ここに閉じこもらず、広く「全国と世界にアピールできるまち」にしていき、住んでいる我々が心豊かな気持ちで、安心して暮らせるまちにしていくという筋書き。
- ・この戦略に沿って、既にスタートしている事業を含め、スピード感を持って事業を進めたいと考えている。
- ・また、この総合戦略をベースとしながら、「次期総合計画」の本格的な策定に着手することになる。引き続き委員の皆様のご意見、ご提案をいただきますようお願いして、あいさつとさせていただきます。

○ 議 事

(1) 「ひと・まち・しごと創生 鹿沼市総合戦略(案)」について

別添資料1及び参考1について事務局から説明。

《質問・意見等》

特になし

《委員全員からのご意見等》

(委員) 全体的にみて、よくできていると思う。

鹿沼市をこれからどういう市にしていくのが望ましいのかという観点から、人口減少の中で、魅力的な市をつくっていく中で、「人づくり」は重要な課題。そのために、お子さんの教育と、流出が多い点を食い止める。無い物を創設するのではなく、この地域独特なものを伸ばしていくことが实际的。他からの客観的な批評で、市が目立っていく。また、この地域のリピーターとして来てくれる人は、全国的にユニークな存在である必要がある。ここに来ないと体験できないことがあるという必要がある。これはなかなか、中にいると気づきづらい。表面的なもの(ゆるキャラ・B級グルメなど)ではなく、伝統的なものや、自然の中を生かしたものにに関して、今後考えて行けると良い。

(委員) 総合戦略(案)は、概ね基本目標を網羅しており、分かりやすい

表現になっていると思う。数値目標の根拠については、一読しただけで

は分かりづらいものもある。もう少し検討してもらえると良い。(今後の課題にしてもらえれば。) 今後は、PDCA をしっかりやっていくことが重要。しっかりと進め、総合計画の中にも、取り入れて行ってもらえるといい。

(委員) P.17の「結婚・出産・子育ての支援」に特に力を入れてもらいたい。どれか一つでも崩れると、他の地域の方が育てやすいとか、住んでいても周りのサポートがあるから他に行こうとかとなってしまう。「結婚・出産・子育ての支援」に力を入れれば、働いているのは鹿沼だけど、住んでいるのは宇都宮という人も少なくなるのでは。

(委員) ワールドフェスティバルのパンフレットのスペルが間違っていた。P.19の英語教育の充実が重要。英語の先生の発音が下手。市の予算で、英語の先生を半年から1年海外へ留学させて、ネイティブな発音を学んでもらう。⇒英語教育の充実につながる。

(委員) 鹿沼市の魅力として、子供が元気に育っていく市だということをPRしてはどうか。鹿沼市独自のオリジナル性のある支援や、医療費対策(中学生よりもう少し上まで)をして、鹿沼に来て子どもが元気に育つとPRすると、親は魅力的。買い物について、市内だと事が足らず、宇都宮市や栃木市へ出てしまう。市内に大きなショッピングモールや映画館があるといい。(若い人が魅力を感じる市) 市民に情報が見えてこない。パブリックコメントをコミセンで見てみた。パブリックコメントという言葉を知らないと市民は手に取らないだろう。HPや回覧、広報誌、ポスター等でもっと情報を発信した方がいい。

(委員) 立派な総合戦略が出来たと思う。1点だけお願いしたい。P.7の「市内総生産額」については、算出式などコメントを付け加えた方が分かりやすい。今後は実行の段階へ入っていくのだろう。まず、「ひと」ということを先頭に持ってきた、自分事ということを取組むことが重要。市民に見える化をしていかないといけない。市民一人一人の参画が重要。市民の力を引き出すような施策が必要。KPIの目標や、PDCAサイクルの仕組みの明確化、どのような仕組みの中でやっていくのかが重要。

(委員) パブリックコメントの「再生可能エネルギーの利用促進」は、材料を見つけるのが大変だろう。鹿沼材は細部まで活用できて、廃材があまり期待できない。休耕田に太陽光発電を進めた方がいいのでは。「鹿沼産材の利用促進」の「日本の林業をけん引する会社と提携する」とあるが、どういう所を考えているのかお聞かせ願いたい。また、CLT(合板)については、強度があるため、現在はこれを使っている住宅が多いが、数値目標の算出の根拠は?

(企画課長) パブリックコメントの意見のため、市からの提案ではない。そのため、想定はしていない。

(委員) 自然活用で、公衆トイレの補助金があるといい。それから、運動公園の野球ネットを高くしてほしいと要望している。打球が駐車場の車にあたってしまうことがある。5年計画とかで、ネットを高く上げてほしい。

(委員) 基本的には良くできているのでは。数値目標については、各部各課から吸い上げた数字だろうが、もう少し上げてもいいのではと思う。(雇用数 80 人とか、空き家バンク成約 8 件とか) 重要度やランク付け、優先など触れても良かったのかなと思う。中間で再評価なども必要になるのかなと思う。前回話が出ていた、「高齢者の活用」や、生活支援が抜けている。小中学校の適正化をやっている。計画だと、人口減少度が抑えてある。英語教育は、上都賀地区の英語スピーチはレベルが高い。

(委員) 壬生町にくるファナックの好影響はないのか。

(企画課長) 影響はたぶんある。下請けや、住宅などに繋がればいい。

産業で、農協法改正や TPP、この 5 年でマイナスの影響が出るだろう。農業者の所得増大、生産の拡大、地域の活性化がテーマ。上都賀農協では、H28 から中期 3 か年計画を作る。農業振興事務所でも作っている。対象は全て農家。それぞれの所で作る計画が、整合性のあるものになるよう、お願いしたい。できれば、農協の計画のテーマに沿ったものにしてもらえるとありがたい。この戦略は、概ね反映されていると感じる。野生鳥獣被害の防止や耕作放棄地対策が喫急の課題。山間地や農村部での、農業を中心とした色々なしかけを実施し、地域の活性化に寄与したい。行政や地元の団体と手を携えて、目標を達成していきたい。今後ともご理解ご協力をいただきたい。

(委員) 鹿沼の文化、ユネスコ文化遺産の登録も間近と聞いている。博物館を作ろうということが未だ実現していない。文化活動交流館の石蔵を活用して博物館を実現してほしい。子どもの教育や環境は恵まれているが、特徴はない。買い物は市外へ行ってしまう。ユニクロに来てくださいと投書してみたことがある。若者に発信するまちづくりをしてもらいたい。東小は人数が多い。東に人口が移っている。学区割りの見直し、検討をお願いしたい。英語教育等を考えると、中学校はもう 1 校あってもいいのでは。英語教育は、鹿沼の恥ずかしがりの人柄が出てしまっている。中学校程度の英語の文法が分かれば、コミュニケーションはとれる。恥ずかしがらずに、どんどん入っていけるような環境や指導が必要。

(委員) 雇用の創出、就業支援は沢山入っている。ハローワークとしても就業支援は積極的に協力して進めていく。就労した後の定着支援をもう少し含めてほしい。一つだけ「子育てを応援する企業への支援」が含まれているが、その他の面でも定着支援を進めてもらう必要がある。ずっと勤めてもらうためにも産む環境をつくることも大切。

(委員) 特に産業の部分が鹿沼らしい計画。いい計画を作っても、人口減少の流れやベクトルを変えることは難しい。様々な施策を計画的にやるのが重要だが、厳しい行財政の中で、選択と集中をしながらやって行かざるを得ない。県共々、協力をしながら、計画が実現でき、KPI の達成等、実りある計画になればと思う。

(委員) 子育て支援事業について

子ども子育て支援制度が今年度から始まった。幼稚園の保育料について、制度が変わり、他市との差が分かるようになった。他市の料金と比較し、できたら宇都宮市より安く設定してもらえるといい。第3子対策の施策も進めてほしい。他市の進んでいるものを取り入れてもらえると良い。

「安全安心に暮らせるまちづくり」では、交通事故が多いのは、高齢者の運転者が多いのも一因。(警察の協議会で話が出ていた。) 高齢者の免許返納を促すようなメリットを設けてもらえるといい。それぞれの項目に関して、それぞれの担当の方の意見を取り入れてもらえるといい。パブリックコメントは、この会議に出ていないと見ないのでは。広報等でもっと呼びかけてもらい、もう少し多くの意見がもらえると良かったかなと思う。

(委員) 自己発信しても、なかなか相手に伝わらない。他人目線でいい所だねと言ってもらえるためには、「全国と世界に着目されるまち」のほうがいいのではと思う。行政職員は広報が得意ではない。見せるためのものを磨くという方に力を注いだ方がいい。表紙は“ひと”にメリハリをつけているが、中身が横並び。戦略にはメリハリをつけて、事業名についても、わくわくするような事業名にしたりするといい。PDCA サイクルは、一般的に合わせるという事だが、そこを理由づけして、他とは違うことを見せることも必要。

(委員) パブリックコメントにもあったが、数値目標の必要性や根拠は配慮すべき。P.16 の教育関係で「地域に根差した教育」「子どもたちの郷土愛を育む」について、小中学校の適正規配置を進める中で、今後どうしていくのか。(「沢には沢の文化あり。」・・・山間地にある1本の川に沿って地域の文化があり、それと密着して学校文化、学校教育がある) 郷土愛や、地域に根差した教育という部分をどのようにしていったらいいのか、を考えて行かないといけない。P.17 の子育て、教育では、足りない部分の補充や支援が多かった。今後は、積極的、戦略的、開発的な、具体的な内容が出てくると良い。

(会長) 皆様から、貴重なご意見をいただいた。戦略で入れられるものは入れていく。総合計画の中に入れて行かなければいけないようなご意見もいただいた。今後の総合計画策定の中で含めていくということになる。

(2) 「次期総合計画」構成のイメージについて

別添資料2、参考2、別紙1について事務局から説明。

- ・別紙1については、参考2の資料を参考にご検討いただき、11月末までに添付の返信用封筒で、ご返送ください。

《質問・意見等》

特になし

(委員) 南摩ダムの問題もある。あと3年で着工するという話もある。参考にしたい。

(市長) 熱心にご議論いただきまして、誠にありがとうございます。市民の皆さんの要望・思いは多岐にわたり、全てまんべんなく完璧に手は打てない状況。どういうまちを目指すのか大きな基本はしっかり据えた上で、優先順位をつけながら進めていきますので、ご理解をいただきたい。

この総合戦略は、全国一斉にやっている。それぞれが同じような課題を抱えて、いろいろな計画を作っている。今後、より具体的に進めていくが、随時見直し、スクラップもしながら、創意工夫をして結果を出していきたい。

第3子対策は県と市の関係は、市が先行して実施し、ある程度取組みが進んでくると、県で全市的に実施するようになる。

「沢には沢の文化」があるのはそのとおり。同じ沢の中に複数校あるところから、進めており、「沢としての伝統文化」は残しつつ、見直しが検討されていると認識しており、統合にあたっては、留意して進めて。

「着目されるまち」、今までの概念を壊して、注目されるように仕向けようと、逆の見方をするというところを取り入れていきたい。いろいろ見方を少し変えるだけで、中身が変わってくるということも参考とさせていただきたい。

また、これから総合計画ということでお世話になりますが、よろしく願いたい。

○その他

事務局から今後の予定について説明。

◇「鹿沼市総合戦略」については、10月末で策定し、国へ提出します。

◇次回は年明け2月24日(水)午前10時30分からを予定。

現在先行して実施中の総合戦略事業について、2月時点での成果・進捗状況について報告と検証も実施する予定。次期総合計画の課題を活用させていただき、まとめたものをご提示していきたい。

○閉会